

令和2年度 9月補正予算案の概要

1 総括

新型コロナウイルス感染症対策として医療提供体制の整備に要する経費に予算措置を講じるとともに、県内経済活動の回復に向けた支援や県民生活に直結する公共事業の追加など、当面緊急に対応すべき事業について補正予算を編成した。

2 補正予算の規模

一般会計	877億4,997万1千円
(補正後累計)	2兆2,647億7,999万7千円)

3 主な内容

○ 感染拡大期に対応した医療提供体制の整備等

- ・ 入院医療機関の体制整備への助成 549億1,050万3千円
- ・ 専用医療施設の整備への助成
 - うち、令和2年度支出分 37億5,400万円
 - うち、令和3年度支出分<債務負担行為の設定>
 - 限度額：4億4,000万円
- ・ 軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の更なる確保 68億6,099万3千円
- ・ 医療機関の持続可能な経営に向けたオンライン研修の実施 435万7千円

○ 県内経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応

- ・ 観光応援キャンペーン等による観光関連事業者への支援 4億6,829万9千円
- ・ 中小企業のオンラインでの販路開拓に向けた支援 2,427万6千円
- ・ ハローワーク浦和・就業支援サテライトにおける相談業務等のオンライン化 2,076万2千円
- ・ テレワーク等の推進に伴う市内ネットワーク環境の強化
 - うち、令和2年度支出分 5,448万4千円
 - うち、令和3年度支出分<債務負担行為の設定> 限度額：4,862万円

○ 指定管理者制度導入施設における感染症対策に伴う委託料等の増額

- ・ さいたまスーパーアリーナなど27施設 8億1,936万8千円

○ 感染拡大等に伴う予算執行の見直し

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業 Δ 17億5,737万6千円
- ・ その他のイベント関連事業等 Δ 4億9,360万4千円

○ 公共事業の追加、適正工期の確保

- ・ 道路・街路事業 29億8,810万7千円
- ・ 河川事業 10億3,899万8千円
- ・ 繰越明許費の設定 12億7,400万円

○ その他

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策推進基金への積み立て 9,002万6千円
- ・ 知事等の給与の特例減額 Δ 595万7千円
- ・ 予備費の増額 2億円

4 主な財源

- ・ 国庫支出金 879億9,805万5千円
- ・ 県債 16億7,300万円
- ・ 繰入金 Δ 22億4,542万2千円
- うち財政調整基金の取り崩しの中止 Δ 19億6,223万1千円

[参考] 基金残高 令和元年度末 約123億円
令和2年度末(見込) 約66億円